

土佐中・高
振興会だより 第五号

発行者
振興会会長 国見直樹
編集責任者
杉本雄一

紙面紹介

新たな決意を胸に	1
振興会のご協力に感謝	1
TSL(教員研修)の報告	2

支部総会(懇親会)	
合同開催順調に進む	3
会員の皆様にお願ひ	4

新たな決意を胸に

振興会会長 国見直樹

「ミレニアムだ、新世紀だ」と騒いだことが嘘のようにあっという間に時は流れ、二十一世紀も三年目を迎えようとしています。会員の皆様におかれましては、年末の忙しい毎日をお過ごしのことと

年が明けると、間もなくセンター試験です。高三生のいらっしゃるご家庭では、さぞ緊張された日々を送られていることとお察し致します。また、進級に向け頑張っている皆さんには、三学期に隔年開催で行われる向陽祭が楽しみかもわかりません。

ところで今年、土佐校は池上武雄新校長をお迎え致しました。新校長のもとで、学校は新たな方向

性を持ったように思います。校長先生と浜田教頭先生及びTSL事業参加の諸先生にご寄稿をお願いしましたので、お読み下さると、このことを感じただけなのではないでしょうか。

他方、我が振興会でも、会員の皆様のご協力を得て、新たに支部総会の合同開催に取り組んでいただきました。ご負担が多い支部もあることから、成り行きを大変心配をしておりますところ、お蔭様で、これを実施した支部から概ね良かったとお話を伺い、胸を撫で下ろしております。ご苦労された会員の皆様に感謝いたします。

既にお知らせしましたように、土佐校は、百年委員会の提言を踏まえて改革への歩みを始めました。

振興会は、今後とも学校との連携を深め、この歩みに協力してゆきたいと思えます。なお、この提言の中で、新校舎建設が、中期的な課題になっていきますので、振興会としても、「新校舎建設」に今後どのような形で協力出来るのかを検討すべき必要性がでてきました。

最後に、今年一年、各支部の役員さん、各会員の皆様にご協力をお願いになりました。振興会本部役員を代表し、お礼申し上げます。

皆様、良いお年をお迎え下さい。

振興会のご協力に感謝

学校長 池上武雄

寒冷の候、保護者の皆様にはますますご健勝にてご活躍のことと心からお慶び申し上げます。平素は学校運営に関しまして、振興会ならびに保護者の皆様には格別のご支援・ご協力を賜っておりますことを誠に有り難く、厚く御礼申し上げます。

支部総会に参加して

さて、六月から振興会支部総会に参加させていただき、保護者の皆様との懇談の中で色々なお励ましやら貴重なご意見・ご注文を頂戴しました。一年生校長にとりましては、本当に日々勉強の連続でございます。大変有り難く感謝申し上げます。また本年

来るべき南海大震災に備え

最近、南海大地震に対する防災対策が数々指摘されておるところですが、本校においても被災時の対応について十分な準備・対応策

度は、お心遣いを賜り支部総会合同開催を企画していただきましたお蔭様で、大変出席しやすくなっておりますことを感謝申し上げます。新校長としては、許す限り全ての総会に出席させていただきよう努め、日程の重なった会を除いて全総会に出席させていただきました。

を考慮しておかなくてはと思います。また、その避難などの予行演習も実施しておく必要もあります。怠りない準備をいたして参りますが、ただハード面では問題が残ります。本校校舎は建築後三十年経過し、防災面での問題は沢山あります。今ここで相当な費用をかけて部分的な防災対策を講ずるよりは、二〇二〇年の創立百周年を目指して校舎の全面改築が予定されておりますので、出来るだけ早く改築を進めることで防災対策の万全を期したいと考えております。どうかご理解をいただきたいと思います。

教職員は頑張っております

学校の中に入って見えて参りましたことをお話ししたいと思います。それは、本校の先生方が土佐中・高の教職員としての強い自覚にたつて、教科指導・進路指導・生徒指導・クラブ指導等に大変な労力と心を注入し、真に教育のプロと

TSL(教員研修)の報告

教頭 浜田俊充

創立八〇周年記念事業の一つとして企画されたTSLが、ようやく実動しはじめました。振興会、同窓会の皆様の長期間にわたるご検討と、多額な資金援助をいただき、まことにありがた

【新英語研究会全国大会】

(阿波谷 七月三十一日〜八月三日 山口市)

「読みとりの力をどう高めるかの分科会でレポート報告をした。昨年度中三を担当した際に行った授業を、実際の英文を使ってワークショップ形式で紹介した。全体討論の中で、英語の授業で意識的に説明文の読みとり方を指導す

る必要性や重要性が共通認識されたことは大きな前進だった。「中学校から高校へ進学したとたん英語の教科書が難しくなった」と生徒たちが感じるギャップを乗り越えさせる上でも、中三の段階で説明文の読みとり方を意識させ始めることは不可欠だと考える。

【学習スキル研修：JEC教育総合研究所主催】

（三浦 八月五日～八日 東京）

今回の研修で、授業の構成要素の一つひとつについて再認識することができた。すべての先生方が「授業で勝負」という気持ちを持っていてとは思いますが、その「授業」をどのレベルまで意識して組織・実践できているだろうか。自分自身、きわめて観念的なレベルにとどまっていたことを痛烈に反省させられたし、こうした反省点を二学期以

降の授業の改善に早速活かしてゆきたいと思っている。この「学習スキル研修」は、年齢や経験に関係なくすべての先生方に有益だろうという点で、また特に、TSL研修の趣旨にふさわしいものの一つであることも再確認できたと思う。進学指導部の立場から、この研修を学校全体の組織的な取り組みとして実現することを強く希望するものである。

【スペインでの個展「ふるえる森」】（門田修 九月五日～二十七日バルセロナ）

秋の気配の漂い始めた中世の幻想の街で、私の幻想のアルミ達が、鈍い光を放ち、この時間の止まった様な空間を引裂いていく。それは、あたかもドンキホーテよろしく、中世にタイムスリップしたがっているかの様でもあり、また、中世騎士がどこからともなく、ひ

よいとやって来たかのように思われた。日本では想いもよらなかつたことであった。周囲の有様でこんなにも違ったものが見えてくるとは、改めて考えさせられることとなった。

【TOEICアドバンコース】（鎌田 一〇月～三月、週一回イーオン校）

本校でも早くTOEIC受験希望者を募って、生徒たちが学校で受験できるようにしたいと考えている。それまでのノウハウを、例えばどうやって生徒にすすめ、どんな方法で生徒の力を伸ばしているのか等を学び、自分自身のスコアもあげていきたいと思っている。

【英語技能を高める研修】（小林）

外国人講師によりデイスカッション、デイベート、Eメールを使

った交流、教授法についての研究等を実施する。TSL委員の承認も得ていますが人選に苦勞しています。人選が決定すれば直ちに実施したいと考えています。その他、教育研修セミナーへの参加希望が数名の者から申し出が来ています。多くの教員が有益な研修ができるよう今後ともご支援をお願いいたします。

支部総会（懇親会）

合同開催順調に進む

現在ある三〇支部すべてが、平成十四年度の総会を終えました。今年度は、本部から提案し、去る三月の評議員会（支部長会）で承認された支部総会（懇親会）合同開催に初めて取り組んでいただき、本当に有難うございました。厚く御礼申し上げます。まだ、すべての支部からは報告

書が届いておりませんが、合同開催された支部からの報告書によりますと、概ね好評だったようです。総会での人数が増えたこと、他支部と交流がもてたこと等が利点として挙げられました。なかには、支部統合も可能だとして、それに向けての話し合いをされた支部もあり、今後、支部の統廃合に取り組む上で朗報でした。しかし、前号でもお知らせした通り、統廃合を実施するには、支部の歴史・団体意識・会計・運営方法など、もつと時間をかけて討議されなければなりません。活発なご意見を評議員会で交換したいと思えます。

今回試験的に合同開催が行われたわけですが、「先生方の時間的負担を軽減、研修のための条件整備を図るとともに、小規模支部の保護者の負担を軽減する」という当初の目的実現に向け、一歩を踏み出せたのではないかと考えております。会員の皆様の賛同が得られ

れば、来年度もよりよい形で合同開催に取り組んで参りたいと思えます。来年三月の評議員会までに、支部単位で、合同開催についての見解をまとめておいてくださるよう、お願い申し上げます。なお、報告書の提出がまだの支部は、できるだけ早く、事務局（学校）千頭さんまでFAXもしくは郵送でお願い致します。（今年度の支部長さんにお願ひ致します）

会員の皆様へお願い

①会員名簿の保護者職業、住所電話番号等の記載自由選択について

毎年六、七月頃に発行される振興会会員名簿は、入学時に提出した「振興会会員名簿作成票」に基づいて作成されています。毎年四

月には、ホームで配られた継続個人票に変更か否かを生徒自身に書いてもらっています。その個人票に、「空欄希望」の欄を設けてありますので、空欄を希望されるご家庭は、子供さんに、必ず空欄希望を〇で囲むよう、周知徹底をお願いいたします。

②挨拶励行について

礼節を重んじることを標榜している土佐校生が、挨拶が出来ていないことを大変遺憾に思っています。「挨拶」はしても、されても気持ちの良いものであることは、今さら特筆すべきことではありません。先生に対して、あるいは学校を訪れる方々（たとえ保護者でも）への挨拶を、折に触れ、ご家庭で指導して頂きたいと思えます。年頃の子供たち特有の照れがあるのは理解できますが、すれ違ふときには、せめて会釈するように徹底させましょう。また、学校のほうでも、しっかりと子供たちにご指導

③校内美化について

近年、放課後の校内清掃を子供達だけに任せられなくて、先生方が一緒にされているとか、監視してないと掃除をしない子供達が増えているといった現象がひどくなっていることをご存知でしょうか。また、食堂の食器を教室にそのまま置きっぱなしということもあるようです。このことについても、ご家庭でもご指導の程宜しくお願い致します。

校内美化、特にトイレの悪臭・汚れについては、毎年保護者の間で話題になっていますので、振興会が協力できることを模索し、学校と連携して、古いなりに掃除の行き届いた土佐校にしようではありませんか。

